

○双頭ノ土筆(つくし)

東京帝國大學農學部講師

向坂道治



狀ニ羅列シタ物デアルガ今回見タノハ普通ノ莖ヨリ太ク其ノ先端ハ寫眞ノ如クニ双頭デスコブル奇態ヲ呈シテ
 ヲル胞子ハ完全デ發芽試験ハシテ見ナイガ普通ノモノト異イハナイ、莖ノ解剖的研究ヲシテ見タガ普通ノモノ
 ト維管束 (Gefässbündel) ノ數並ニ配置ハ同ジデアッタ

他ニ求ムルモ餘リカ、ル現象ハナイシ西ケ原試験場内デモ百本ニ一本ノ割合モナイカラ必ズヤ一種ノ畸形現象
 (Teratologisches) ノモノデアッテ或ハ二本ノ土筆ガ癒着 (Vervachsen) セシモノナラン、カ、ル畸形ガ羊齒植
 物ノすぎニ現出スル事ハ更ニ瑞蓮等ノ場合ト共ニ植物畸形學 (Phytoteratologie) 上面白キ材料ナラン、勿論
 コノ變態 (Bildungsabweichungen) ハ植物病理學 (Phytopathologie) ニ屬スルモノデナク純然タル畸形 (Miss-
 bildungen) デアル、瑞蓮ニナゾラヘテ瑞土筆ト謂ッタラ如何デアラウ

双頭ノ土筆(つくし)

瑞蓮ト稱シテ古來一花梗ニ
 二花ヲ開ク蓮ガアルガ私ハ
 最近東京市外西ケ原農事試
 驗場内ニ双頭ノつくし(土
 筆)ヲ發見シタ、普通ノす
 ぎな (Equisetum arvense
 L.) ノ胞子莖即チ俗ニ云フ
 つくし(土筆)ハ必ズ筆頭狀
 ヲ呈シ數十ノ胞子囊ノ龜甲